



インターネットでオールカラーの記事が読めるよ！

いわてアグリベンチャーネット 普及センターもりおか

検索

第173号 平成29年2月27日発行
 盛岡農業改良普及センター
 盛岡市内丸11-1 盛岡地区合同庁舎
 TEL 019-629-6726 FAX 019-629-6739

平成28年度技術実証の結果を御紹介します～野菜・果樹・畜産～

野菜

着色を促進させて単価の高い時期にトマトを出荷しよう！

1 実証内容

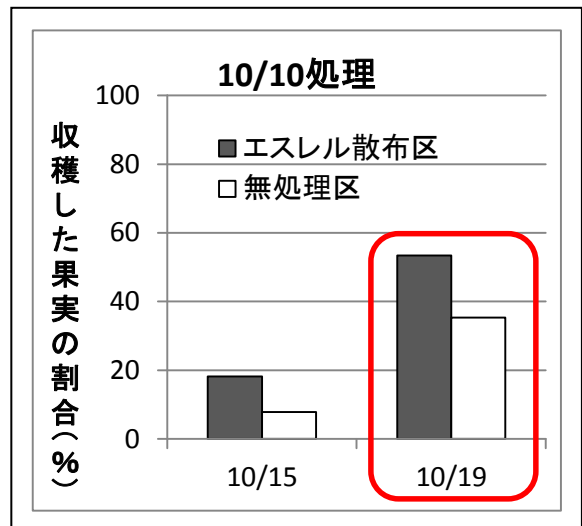
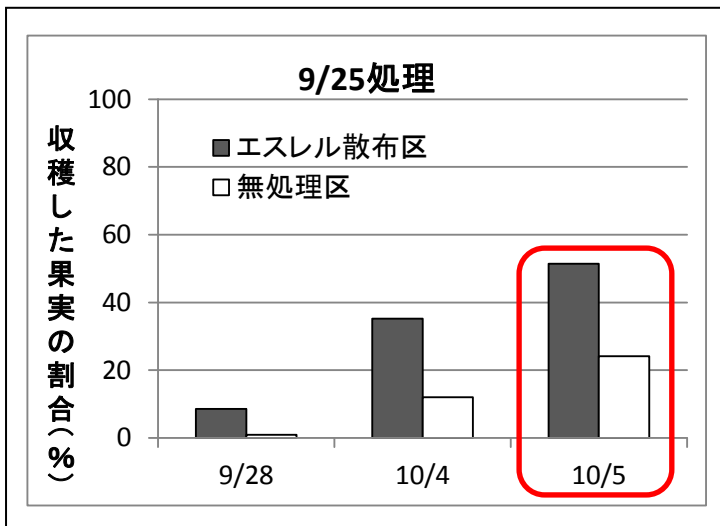
例年、特に10月は単価が高くなる時期ですが、日射量が少なく果温が上がりにくいため、着色せずに栽培終了を迎える果実が残ります。そこで、着色を促進させるホルモン「エチレン」を果実に散布することで、着色を進める技術を実証しました。

2 処理方法

白熟期（緑色が薄くなった時期）の果実が着果している果房に対し下記の倍率、液量でエスレル10を散布。

作物名	希釈倍数	使用液量	使用時期	使用回数	使用方法
トマト	300～500倍	5ml/果房	各果房毎の白熟期	1果房につき1回	果房散布
ミニトマト					

3 実証結果（概ね白熟期を迎えた100果/区について調査）



○ 処理10日後（9月処理の10/5及び10月処理の10/19）には、エスレル散布により約50%の果実が収穫可能になりました。

果樹

天敵を活用してダニ剤の散布回数を減らそう！

1 実証内容

当地域で取り組まれているりんごの特別栽培では、使用できる農薬数が制限されるため、夏期高温時に多発するハダニ類の防除対策が課題となっています。

そこで、ハダニ類の天敵であるカブリダニの天敵製剤（生物農薬）を活用することにより、化学合成農薬に頼らない防除技術を実証しました。

2 実証結果

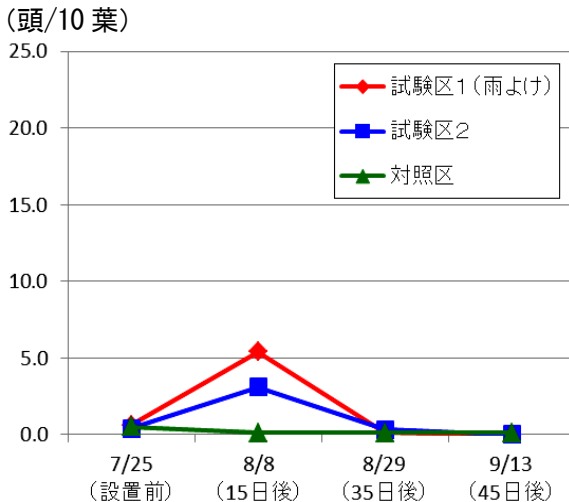


図1 滝沢市のハダニ類 10 葉当寄生頭数

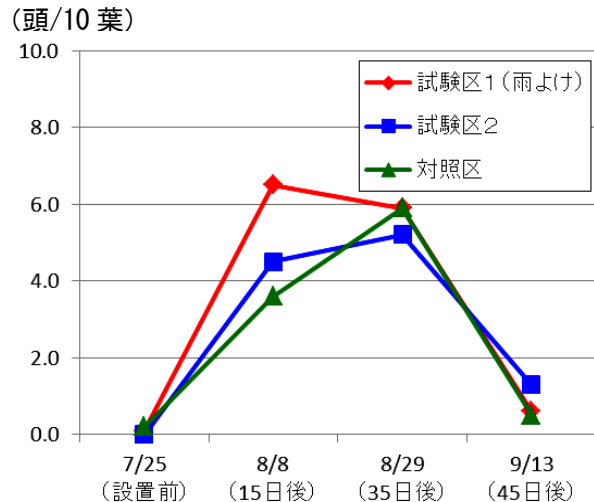


図2 滝沢市カブリダニ類 10 葉当寄生頭数

- 滝沢市の実証結果では、通常2～3回必要となる殺ダニ剤の散布が無散布で済むなど、天敵活用によるハダニ類防除の有効性が確認されました。今後は、天敵類の生息場所である下草の管理方法や、薬剤散布による天敵への影響について更に検討を進めます。

畜産

換気扇を設置して暑熱ストレスを抑えよう！

1 実証内容

年々暑くなっている近年、暑熱対策をしていないと、牛は食欲不振などの体調不良を起こし、場合によっては栄養状態の回復が遅れることが予想されます。暑熱ストレスは秋になっても繁殖や哺育に影響がでることもあります。

夏バテを防止するために、換気扇の設置を実証しました。実証には施設整備費の低減を図るため遊休施設の機械を利用しました。



B牧場 換気扇設置の様子

2 実証結果

換気扇の設置前と設置後の風速及び牛舎内温度を比較しました。(下表)

		設置前 (6月)	設置後 (7,8月平均)
A牧場	風速	0 m/秒	1.3 m/秒
	牛舎内温度	24.1 °C	23.7 °C
B牧場	風速	0 m/秒	2 m/秒
	牛舎内温度	26.3 °C	26.1 °C

- 設置後環境温度がやや下がり、牛の横臥が増える様子が観察されました。今後も継続して換気扇の効果を観察していく予定です。